

平成24年度 ISO-FIX 専用チャイルドシート使用性評価判定の目安について

1. 概要

昨年度チャイルドシートアセスメント試験として初めて ISO-FIX 専用チャイルドシートの試験を実施した。

ISO-FIX 式チャイルドシートについては、取付性が格段に向上するとの理由から、取付性評価試験の評価項目を従来の4項目から2項目の平均として試験を実施した。

この結果、ISO-FIX 方式は従来のベルト固定式より取付性が向上しているにも関わらず、2項目のうち1項目（固定後の判定）の評価得点が低かったことから「取付性」の評価がベルト固定式より低くなるという問題が発生した。

このため、ISO-FIX チャイルドシートに関する使用性評価を正しく行うために ISO-FIX 専用のチャイルドシート使用性評価判定の基準を新たに設けることとした。

2. 評価項目変更内容

「ISO-FIX 専用のチャイルドシート使用性評価判定の目安」の作成にあたり、評価項目数をシートベルト固定タイプと同数とした。

評価シートにおける主な変更内容は下表のとおり。

評価項目	変更の有無	評価項目の主な変更点
取扱説明書等	変更なし	
本体表示	一部変更	ISO-FIX 方式は座席ベルトによる固定が不要であることから、 ・「ベルトガイドに関する表示」についての評価を、「回転防止装置操作方法の表示、テザーストラップ張力表示とその意味の明解性」に変更した。
本体機構	一部変更	・ISO-FIX 方式特有の機構であるサポートレック、テザーストラップ、アーム等の操作性及びリリース機構の操作性についての評価項目を追加した。
取り付け性	大幅変更	ISO-FIX の固定のしやすさ」の評価項目を見直し、 ・ISO-FIX の座席部アンカーとチャイルドシートアームの接続性(ロック状態の確認について表示をマスト要件とした) ・チャイルドシートが分割式のものにあっては、ベース部と本体との接続性 ・レックサポートの取付性 ・テザーストラップの調整、解除の操作性 ・シートバック角度の調整 を評価項目として追加した。
装着性	変更なし	

ISO-FIX固定タイプ

評価項目		A(+2点)	AB(+1点)	B(標準:3点)	BC(-1点)	C(-2点)
取扱説明書	1 内容全体の理解のし易さ	←レイアウトが良く簡潔でわかりやすい		・取付け及び装着について説明がある		←説明が不十分、又は輸入品については日本語訳がない
	2 図版の見やすさ、正確性	←図版だけでも理解できる ←図版を中心に説明している	←図版を中心に説明している	・取付け及び装着について、図版と文章で理解ができる	←図版が少ない	←図版が不正確で製品とマッチしていない
	3 注意、警告の表記	←わかりやすい ←警告、注意のページがあり、かつ使用方法の説明に沿って表記している	←使用方法の説明に沿って、注意、警告を表記している	・助手席装着時の警告、及び技術基準に定める注意・警告の表記がある	←助手席装着時の警告しかない	←技術基準に定める表記がない
	4 子供の体格別の使用方法	←わかりやすい ←体格に応じた肩の位置等の調整方法が説明されている ←わかりやすい ←体格に応じた肩の位置等の調整が説明されている	←肩の位置等に応じた調整が説明されている ←肩の位置等に応じた調整が説明されている	・使用形態が子供の体格別に複数ある場合、取付け及び装着を体格別にくって説明している ・使用形態が単一である	←体格別にくらず、随時説明している	←体格別の説明かわかりづらい
	5 取り付け後の確認方法	←「定量的な確認方法」、及び「正しく取り付けしていない場合の対処法」がある	←「定量的な確認方法」か、「確認方法と正しく取り付けしていない場合の対処法」のどちらか一方がある	・取付け後の、具体的な確認方法がある	←確認方法が抽象的である	←確認方法がない
梱包箱	6 梱包箱の表示の明確性	←わかりやすい ←対象となる体重が表示されている	←対象となる体重、身長両方が表示されている	・対象となる体重、身長いずれかが表示(日本語)され、かつ技術基準に定める注意・警告等の表示及び適合基準表示がある	←技術基準に定める表示、又は適合基準表示がない	←対象となる体重、身長が表示がない

注:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすいもの等は加点(+2まで)する。

シートベルト固定タイプ

評価項目		A(+2点)	AB(+1点)	B(標準:3点)	BC(-1点)	C(-2点)
取扱説明書	1 内容全体の理解のし易さ	←レイアウトが良く簡潔でわかりやすい		・取付け及び装着について説明がある		←説明が不十分、又は輸入品については日本語訳がない
	2 図版の見やすさ、正確性	←図版だけでも理解できる ←図版を中心に説明している	←図版を中心に説明している	・取付け及び装着について、図版と文章で理解ができる	←図版が少ない	←図版が不正確で製品とマッチしていない
	3 注意、警告の表記	←わかりやすい ←警告、注意のページがあり、かつ使用方法の説明に沿って表記している	←使用方法の説明に沿って、注意、警告を表記している	・助手席装着時の警告、及び技術基準に定める注意・警告の表記がある	←助手席装着時の警告しかない	←技術基準に定める表記がない
	4 子供の体格別の使用方法	←わかりやすい ←体格に応じた肩の位置等の調整方法が説明されている ←わかりやすい ←体格に応じた肩の位置等の調整が説明されている	←肩の位置等に応じた調整が説明されている ←肩の位置等に応じた調整が説明されている	・使用形態が子供の体格別に複数ある場合、取付け及び装着を体格別にくって説明している ・使用形態が単一である	←体格別にくらず、随時説明している	←体格別の説明かわかりづらい
	5 取り付け後の確認方法	←「定量的な確認方法」、及び「正しく取り付けしていない場合の対処法」がある	←「定量的な確認方法」か、「確認方法と正しく取り付けしていない場合の対処法」のどちらか一方がある	・取付け後の、具体的な確認方法がある	←確認方法が抽象的である	←確認方法がない
梱包箱	6 梱包箱の表示の明確性	←わかりやすい ←対象となる体重が表示されている	←対象となる体重、身長両方が表示されている	・対象となる体重、身長いずれかが表示(日本語)され、かつ技術基準に定める注意・警告等の表示及び適合基準表示がある	←技術基準に定める表示、又は適合基準表示がない	←対象となる体重、身長が表示がない

注:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすいもの等は加点(+2まで)する。

評価項目		A(+2点)	AB(+1点)	B(標準:3点)	BC(-1点)	C(-2点)
表示内容	1 取付け方法の明解性	←表示内容がわかりやすい(例:表示と実物の色が統一されている)	←取付ける際に確認しやすい位置に表示がある	・取付け方法の表示がある		←表示がない
	2 注意・警告の表示	←表示内容がわかりやすい	←取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示がある	・助手席装着時の警告、及び技術基準に定める注意・警告がある	←助手席装着時の警告しかない	←表示がない
	3 言語の明解性	←表現が簡潔でわかりやすい		・表示の表現が適切で、誤解が生じにくい	←表示が見づらい(例:字が小さいなど)	←わかりづらい、誤解する表現である、日本語がない等、不適切である
	4 製品の問い合わせ先	←取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示され、かつ表示がわかりやすい	←取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示されているか、又は表示がわかりやすい	・製品の問い合わせ先(社名と電話番号)の表示がある	←電話番号がない	←表示がない
	5 適合基準の表示	←記号の説明が日本語でされている	←使用状態において見やすい位置に表示している	・製品が適合している基準の表示(記号でも可)がある		
本体表示	6 回転防止装置操作方法の明解性	←文字や図等を用い表示内容が分かりやすい ←本体の取り付け向きの違いによるテザーストラップ通し位置の指示がわかりやすい ←テザーストラップ張力計が見やすい位置にあり、かつ、表示の意味がわかりやすい		・基準に定める表示がある	←文字や図等の表示内容が分かりにくい ←テザーストラップ通し位置の表示がわかりにくい ←テザーストラップの張力計が見にくい位置にあり、かつ表示の意味が分かりにくい	

注:この他、個別具体的な事例に応じ、担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつわかりやすいもの等は加点(+2まで)する。

評価項目		A(+2点)	AB(+1点)	B(標準:3点)	BC(-1点)	C(-2点)
表示内容	1 取付け方法の明解性	←表示内容がわかりやすい(例:表示と実物の色が統一されている)	←取付ける際に確認しやすい位置に表示がある	・取付け方法の表示がある		←表示がない
	2 注意・警告の表示	←表示内容がわかりやすい	←取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示がある	・助手席装着時の警告、及び技術基準に定める注意・警告がある	←助手席装着時の警告しかない	←表示がない
	3 言語の明解性	←表現が簡潔でわかりやすい		・表示の表現が適切で、誤解が生じにくい	←表示が見づらい(例:字が小さいなど)	←わかりづらい、誤解する表現である、日本語がない等、不適切である
	4 製品の問い合わせ先	←取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示され、かつ表示がわかりやすい	←取付けた状態等日常確認しやすい位置に表示されているか、又は表示がわかりやすい	・製品の問い合わせ先(社名と電話番号)の表示がある	←電話番号がない	←表示がない
	5 適合基準の表示	←記号の説明が日本語でされている	←使用状態において見やすい位置に表示している	・製品が適合している基準の表示(記号でも可)がある		
ベルトガイド	6-1 ベルト通し位置 F(前向)	←文字だけでなく矢印、色等でも表示し、間違えにくい		・文字によって通し位置を表示している	←矢印、色等のみの表示である、又は表示がないが、本体に通し位置以外に穴がない	←本体に通し位置以外に穴があり、表示していない
	6-2 ベルト通し位置 R(後向)	←文字だけでなく矢印、色等でも表示し、間違えにくい		・文字によって通し位置を表示している	←矢印、色等のみの表示である、又は表示がないが、本体に通し位置以外に穴がない	←本体に通し位置以外に穴があり、表示していない
	6-3 ベルト通し位置(ベッド)	←文字だけでなく矢印、色等でも表示し、間違えにくい		・文字によって通し位置を表示している	←矢印、色等のみの表示である、又は表示がないが、本体に通し位置以外に穴がない	←本体に通し位置以外に穴があり、表示していない

注:この他、個別具体的な事例に応じ、担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつわかりやすいもの等は加点(+2まで)する。

ISO-FIX固定タイプ

評価項目		A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
可動機構等	1 リクライニングの操作性	→レバースイッチが操作しやすい		・確実にロックする ・後向き等、操作しないと適切に使用できないものについては、レバースイッチの位置がわかりやすい	←確実にロックする ←レバースイッチの位置がわかりにくい	←ロック状態に不安がある
	2 回転の操作性	→レバースイッチが操作しやすい		・確実にロックする ・操作しないと適切に使用できないものについては、レバースイッチの位置がわかりやすい	←確実にロックする ←レバースイッチの位置がわかりにくい	←ロック状態に不安がある、又は回転機能を確保しようとする取付の固定状態が低下する
	3 ISO-FIXラッチシステムおよび(トフテザー又はサポートレグ)座席回転防止機構の操作性	→アームガイドの装着方向がわかりやすい →アームの長さ調整が操作しやすい →サポートレグの操作がしやすい →テザーストラップの通し位置がわかりやすく操作がしやすい →リリース機構の操作方法がわかりやすく、大人が操作しやすい位置にある		・確実にロックする ・操作しないと適切に使用できないものについては、使い方がわかりやすい		←誤った操作、装着をするおそれがある ←リリース機構が幼児の手の届く位置にあり、幼児の力でリリースできてしまう
シートカバー	4 取付けの確実性	→簡単に取付けられる		・シートカバーを脱着した場合に、ハーネス等の取付けが間違えにくく、確実に取付けられる		←確実に取付けられない、又は間違えやすい
収納部	5 取扱説明書、付属品の収納	→取り付けた状態で簡単・確実に収納でき、脱落・紛失のおそれがない	→わかりやすい位置にあり、出し入れが容易	・取扱説明書及び付属品(ある場合)の収納部がある	←取扱説明書、付属品のどちらかの収納部がない	←収納部がない

注1:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすい、容易、確実なもの等は加点(+2まで)する。

シートベルト固定タイプ

評価項目		A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
可動機構	1 リクライニングの操作性	→レバースイッチが操作しやすい		・確実にロックする ・後向き等、操作しないと適切に使用できないものについては、レバースイッチの位置がわかりやすい	←確実にロックする ←レバースイッチの位置がわかりにくい	←ロック状態に不安がある
	2 回転の操作性	→レバースイッチが操作しやすい		・確実にロックする ・操作しないと適切に使用できないものについては、レバースイッチの位置がわかりやすい	←確実にロックする ←レバースイッチの位置がわかりにくい	←ロック状態に不安がある、又は回転機能を確保しようとする取付の固定状態が低下する
	3 サポートレグ固定の確実性	→サポートレグの操作がしやすい		・確実にロックする ・操作しないと適切に使用できないものについては、使い方がわかりやすい	←高さ調整の位置がわかりにくい	←誤った操作、装着をするおそれがある
シートカバー	4 取付けの確実性	→簡単に取付けられる		・シートカバーを脱着した場合に、ハーネス等の取付けが間違えにくく、確実に取付けられる		←確実に取付けられない、又は間違えやすい
収納部	5 取扱説明書、付属品の収納	→取り付けた状態で簡単・確実に収納でき、脱落・紛失のおそれがない	→わかりやすい位置にあり、出し入れが容易	・取扱説明書及び付属品(ある場合)の収納部がある	←取扱説明書、付属品のどちらかの収納部がない	←収納部がない

注1:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすい、容易、確実なもの等は加点(+2まで)する。

ISO-FIX固定タイプ

評価項目			A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
取付性	固定の確実性	1 自動車座席側取り付け具(アンカー)とアーム	→ロックされたことが表示、音および手の感覚のすべてにより確認できる	→ロックされたことが表示による確認に加えて、音又は手の感覚のいずれかにより確認できる	→ロックされたことが表示により確認できる	→ロックされたことが音又は手の感覚のいずれかで確認できる	→ロックされたことがわかりづらい →ロックされたことの表示が見えにくい位置にある
		2-1 ベースと本体(ベッド)	→ベースと本体の接続、固定が表示により確認できる →ロック機構にミスユース対策があるもの →ベースまたは本体のスライド機構等により車両側シートに密着させることができる		→本体を揺する等の動作により固定されていることが確認できる		→本体を揺する等の動作をした際に接続部に遊び(ぐらつき)があり、確実に固定されているかの判断がしづらい
		2-2 ベースと本体(後向)	→ベースと本体の接続、固定が表示により確認できる →ロック機構にミスユース対策があるもの →ベースまたは本体のスライド機構等により車両側シートに密着させることができる		→本体を揺する等の動作により固定されていることが確認できる		→本体を揺する等の動作をした際に接続部に遊び(ぐらつき)があり、確実に固定されているかの判断がしづらい
	2-3 ベースと本体(前向)	→ベースと本体の接続、固定が表示により確認できる →ロック機構にミスユース対策があるもの →ベースまたは本体のスライド機構等により車両側シートに密着させることができる		→本体を揺する等の動作により固定されていることが確認できる		→本体を揺する等の動作をした際に接続部に遊び(ぐらつき)があり、確実に固定されているかの判断がしづらい	
	回転防止装置	3-1 サポートレッグ	→確実に固定でき確実にロックしたことが表示で確認できる		→確実に固定することができる		→高さ調整幅が広く固定しづらい
3-2 テザーストラップ		→張力の調整がしやすく、張力が適切になったこととそれを示す表示を一緒に確認できる →張力の解除の操作がしやすい		→張力調整装置及び張力解除装置がある →張力が適切になったことを示す表示がある		→張力の調整がしづらい →張力解除の操作がしづらい →張力を調整することにより張力が適切になったことを示す表示が見づらい	
取付け角度	4 シートバック角度(後向)	→リクライニング機構により45度±5度未満に調節でき、かつ、45度であることが表示等により確認できる		→45度±5度未満		→45度±10度以上	

注1:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすい、容易、確実なもの等は加点(+2まで)する。

シートベルト固定タイプ

評価項目			A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
取付性	ベルトルーティング	1-1 ベルトの取回し性 F(前向)	→間違えない、かつ車両側ベルトのねじれや折れがないことを確認しやすい		→間違えない、かつ車両側ベルトのねじれや折れがないことを確認しやすい		→間違えやすい、又は車両側ベルトのねじれや折れが発生する
		1-2 ベルトの取回し性 R(後向)	→間違えない、かつ車両側ベルトのねじれや折れがないことを確認しやすい		→間違えない、かつ車両側ベルトのねじれや折れがないことを確認しやすい		→間違えやすい、又は車両側ベルトのねじれや折れが発生する
		1-3 ベルトの取回し性(ベッド)	→間違えない、かつ車両側ベルトのねじれや折れがないことを確認しやすい		→間違えない、かつ車両側ベルトのねじれや折れがないことを確認しやすい		→間違えやすい、又は車両側ベルトのねじれや折れが発生する
取付性	固定の確実性	2-1 ベルトの増し締め F(前向)	→本体に体重をかけずに、一人で容易に確実な増し締めができる		→本体に体重をかけて、一人で容易に確実な増し締めができる		→一人で増し締めがしづらい
		2-2 ベルトの増し締め R(後向)	→本体に体重をかけずに、一人で容易に確実な増し締めができる		→本体に体重をかけて、一人で容易に確実な増し締めができる		→一人で増し締めがしづらい
		2-3 ベルトの増し締め(ベッド)	→本体に体重をかけずに、一人で容易に確実な増し締めができる		→本体に体重をかけて、一人で容易に確実な増し締めができる		→一人で増し締めがしづらい
	3-1 ベルト固定のしやすさ F(前向)	→ロック機構が内蔵型であるが、ロックが簡単かつ確実なもの	→ロック機構が内蔵型であるが、ロックが簡単かつ確実なもの	→固定金具などによって、十分な固定ができる		→固定機能が十分でないもの、又は固定金具などが使いづらいもの	
	3-2 ベルト固定のしやすさ R(後向)	→ロック機構が内蔵型であるが、ロックが簡単かつ確実なもの	→ロック機構が内蔵型であるが、ロックが簡単かつ確実なもの	→固定金具によって、十分な固定ができる →固定用ガイド、クリップによって、十分な固定ができる		→固定機能が十分でないもの、又は固定金具が使いづらいもの	
3-3 ベルト固定のしやすさ(ベッド)	→ロック機構が内蔵型であるが、ロックが簡単かつ確実なもの	→ロック機構が内蔵型であるが、ロックが簡単かつ確実なもの	→固定金具によって、十分な固定ができる		→固定機能が十分でないもの、又は固定金具が使いづらいもの		
固定の確実性	4-1 取付け後の判定 F(前向)	→取付け後にCRS上端を10kgfで引き寄せた時に3cm未満の移動である	-	→取付け後にCRS上端を前方向に10kgfで上部を引き寄せた時、5cm未満の移動量である	→移動量が5cm以上10cm未満	→移動量が10cm以上	
	4-2 取付け後の判定 R(後向)	→45度±5度未満(車両シートとの間に何もかませなくとも約45度が達成できる)	-	→取付け後のシートバック角度が適切と確認できる	-	→45度±10度以上	
	4-3 取付け後の判定(ベッド)	→取付け後にCRS上端を進行方向に10kgfで引き寄せた時、3cm未満の移動量である	-	→取付け後にCRS上端を進行方向に10kgfで上部を引き寄せた時、5cm未満の移動量である	→移動量が5cm以上10cm未満	→移動量が10cm以上	

注1:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、よりわかりやすい、容易、確実なもの等は加点(+2まで)する。

ISO-FIX固定タイプ

評価項目			A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
ハーネス	1	高さ調節	←調節が簡単で間違えにくく、確実に固定できるもの(例:切欠き付きハンガーを利用したもので調節しやすいもの) →ハーネスカバー、肩パットの位置の調整が容易に行えるもの		・調節ができ、カバーの穴とスロット位置が適切 ・ハーネスカバー、肩パットの位置の調整が行えるもの		←調節できない、又は極めて調節が難しいもの、もしくは誤使用を招くほどカバーの穴とスロット位置がずれているもの →ハーネスカバー、肩パットの取付が難しいもの又は紛失しやすいもの
	2	長さ調整(ハーネスの残りシロ等)	←調節が簡単に行える(例:使用しやすいアジャスター式のもの、ELR式のもの)		・調節が行える	←アジャスター式でも、操作しにくいもの	←調整操作が複雑なもの(例:金具にベルトを通して固定するもの)
バックル	3	操作性	→ロック完了が音、手の感覚、及び表示で確実に確認できる →2個1ロック方式のもの	→ロック完了が音、手の感覚、又は表示で確実に確認できる	・確実にロックでき、かつ正しくない差込方向が発生しない ・片側ロック方式でないもの	←正しくない差込方向が発生する	←ロックの状態に不安がある(例:ロック時もガタつきが大きいため、ロックが不適切でも見分けが困難)
	4	解除性(解除時の力を計測)	→形状も子供が解除しにくいよう工夫されている →片手ワンタッチ解除ができる		・子供が解除しにくい解除力(40N以上)である		←解除力が弱く子供が解除しやすい(40N未満)
着座状態	5-1	所要時間F(前向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる
	5-2	所要時間R(後向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる
	5-3	所要時間S(横向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる

注1:前向きは3歳児ダミーを用いて、後向きは9か月ダミーを用いて、横向きは0歳児ダミーを用いて判定する。

注2:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、わかりやすい、容易、確実もの等は加点(+2まで)する。

シートベルト固定タイプ

評価項目			A (+2点)	AB (+1点)	B (標準:3点)	BC (-1点)	C (-2点)
ハーネス	1	高さ調節	←調節が簡単で間違えにくく、確実に固定できるもの(例:切欠き付きハンガーを利用したもので調節しやすいもの) →ハーネスカバー、肩パットの位置の調整が容易に行えるもの		・調節ができ、カバーの穴とスロット位置が適切 ・ハーネスカバー、肩パットの位置の調整が行えるもの		←調節できない、又は極めて調節が難しいもの、もしくは誤使用を招くほどカバーの穴とスロット位置がずれているもの →ハーネスカバー、肩パットの取付が難しいもの又は紛失しやすいもの
	2	長さ調整(ハーネスの残りシロ等)	←調節が簡単に行える(例:使用しやすいアジャスター式のもの、ELR式のもの)		・調節が行える	←アジャスター式でも、操作しにくいもの	←調整操作が複雑なもの(例:金具にベルトを通して固定するもの)
バックル	3	操作性	→ロック完了が音、手の感覚、及び表示で確実に確認できる →2個1ロック方式のもの	→ロック完了が音、手の感覚、又は表示で確実に確認できる	・確実にロックでき、かつ正しくない差込方向が発生しない ・片側ロック方式でないもの	←正しくない差込方向が発生する	←ロックの状態に不安がある(例:ロック時もガタつきが大きいため、ロックが不適切でも見分けが困難)
	4	解除性(解除時の力を計測)	→形状も子供が解除しにくいよう工夫されている →片手ワンタッチ解除ができる		・子供が解除しにくい解除力(40N以上)である		←解除力が弱く子供が解除しやすい(40N未満)
着座状態	5-1	所要時間F(前向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる
	5-2	所要時間R(後向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる
	5-3	所要時間S(横向)(注1)	→30秒未満で適切に着座させられる	—	・専門家がダミーを、30秒以上1分未満で適切に着座させられる	—	←適切な着座に1分以上かかる

注1:前向きは3歳児ダミーを用いて、後向きは9か月ダミーを用いて、横向きは0歳児ダミーを用いて判定する。

注2:この他、個別具体的な事例に応じ担当専門家が合議して、標準を満たさないものは減点(-2まで)、標準を満たし、かつ、わかりやすい、容易、確実もの等は加点(+2まで)する。